

日本ビタミン学会第73回大会 part2 プログラム

第 1 日目 11月20日(土)

第 I 会場 (802教室)	第 II 会場 (307教室)
9:00~9:05 大会長挨拶	
9:05~10:20 学生優秀発表賞講演 8名	9:30~11:30 企業シンポジウム 「免疫機能の維持向上に対する取り組み」 山本 佳弘 (ハウスウエルネスフーズ株式会社)
10:20~11:00 教育講演① 「葉酸のC-1メタボロームの遺伝子栄養学」 香川 靖雄 (女子栄養大学 医化学研究室) (座長) 庄司久美子	「ビタミンD不足解消に向けて-ファンケル従業員での取り組み-」 高野 ひとみ (株式会社ファンケル) 「ビタミン類を含有する機能性化粧品的作用と誘導体化ビタミンの応用について」 水谷 多恵子 (株式会社CIEL)
11:00~11:40 教育講演② 「ピュアサイエンスから実学研究までのすすめ」 重岡 成 (近畿大学附属農場) (座長) 堀尾文彦	「医薬品原料としてのビタミンについて」 田村 元 (三菱ケミカル株式会社) (座長) 田村元, 石神昭人
11:50~12:50 ランチョンセミナー① リソウ 「皮膚でのビタミンCの働き」 石神 昭人 (東京都健康長寿医療センター研究所)	11:50~12:50 ランチョンセミナー② DSM (演者) 浦島充佳、Adrian F. Gombart
13:00~13:40 教育講演③ 「ビタミン類による感染防御免疫システム制御」 阿部 皓一 (武蔵野大学 SSCI研究所, 三菱ケミカル株式会社) (座長) 福井浩二	13:00~16:10 シンポジウム① 【ビタミンを中心としたケミカルバイオロジー研究】 「ビタミンKを構造基盤とした抗腫瘍化合物の創製研究」 藤井 晋也 (東京医科歯科大学 生体材料工学研究所)
13:40~13:55 企画技術活動賞受賞講演 「ビタミン類の医薬品・健康食品原材料の企画と創出」 三菱ケミカル株式会社 畠田谷 卓也, 堀 新千代, 田村 元, 青木 由典	「人工ビタミンDの可能性: ビタミンD受容体 (VDR) リガンドと非VDRリガンドの研究」 橘高 敦史 (帝京大学 薬学部医薬化学講座薬化学研究室)
13:55~15:10 奨励賞受賞講演 「ビタミンB ₁₂ 欠乏により誘発される酸化ストレス障害に関する研究」 美藤 友博 (鳥取大学農学部生命環境農学科 助教) 「天然型ビタミンDおよびビタミンD誘導体の代謝と生理作用に関する研究」 安田 佳織 (富山県立大学工学部 講師)	「ビタミンEエステル体の生物活性におけるエステル構造の影響」 小暮 健太郎 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部) 「三重結合の幾何学的構造変化を利用したクマリン骨格の導入法の開発研究」 伊藤 俊将 (昭和薬科大学 医薬分子化学研究室) 「ビタミンKの生物活性の増強を目指した誘導体研究」 須原 義智 (芝浦工業大学 システム理工学部生命科学科)
15:10~15:55 学会賞受賞講演 「ビタミンDアナログの創製と受容体の構造解析に関する研究」 山本 恵子 (昭和薬科大学 学長・教授)	「ビタミンD誘導体の合成研究: 極性官能基, および共役トリエン構造へのアプローチ」 藤島 利江 (徳島文理大学 香川薬学部) (座長) 須原義智, 橘高敦史
15:55~16:10 休憩	
16:10~17:10 基調講演 「健康寿命の延伸に向けた国の栄養政策の動向とアカデミアへの期待」 塩澤 信良 (厚生労働省健康局健康課栄養指導室)	
17:15~19:00 情報交流会 (予定) 会場: 1階フリースペース	

第 2 日目 11月21日(日)

第 I 会場 (802教室)	第 II 会場 (307教室)
<p>9:00~11:40 特別講演 【ビタミン学で感染症に挑む】</p> <p>9:00~9:50 [教育] 「コロナ禍による大学教育の変貌と将来について -芝浦工業大学での取り組み-」 角田 和巳 (芝浦工業大学工学部機械工学科 教授) (座長) 福井浩二</p> <p>9:55~10:45 [医療] 「新型コロナウイルスが蔓延する時代に東洋医学ができること」 岡村 麻子 (つくばセントラル病院産婦人科部長) (座長) 石神昭人</p> <p>10:50~11:40 [研究] 「インスリン様活性を修飾する機構の多様性と生理的意義」 高橋 伸一郎 (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授) (座長) 竹中麻子</p>	<p>9:00~11:30 シンポジウム② 【エピジェネティクスから考えるビタミン・バイオフィクターの未来】</p> <p>「ビタミン・バイオフィクターとエピジェネティクス」 佐藤 安訓 (北陸大学 薬学部)</p> <p>「Developmental Origins of Health and Disease (DOHaD) 学説の見地に立った 肝臓でのDNA脱メチル化におけるビタミンCの重要性」 橋本 貢士 (獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科)</p> <p>「葉酸とDOHaD、その出生後影響」 熊本 隆之 (奥羽大学 薬学部)</p> <p>「慢性腎臓病におけるエピジェネティクス制御によるビタミンA代謝変動」 増田 真志 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部)</p> <p>「がん研究におけるエピジェネティクスとビタミンE類縁体」 佐藤 綾美 (東京都健康長寿医療センター研究所 分子老化制御チーム) (座長) 佐藤綾美, 佐藤安訓</p>
<p>11:50~12:50 ランチョンセミナー③ 伊藤國 「分子状水素の作用メカニズムを考える」 大澤 郁朗 (東京都健康長寿医療センター研究所) (座長) 石神昭人</p>	<p>11:50~12:50 ランチョンセミナー④ 三菱ケミカル 「ビタミンD栄養低下を招く諸要因： コロナ禍での生活をあらためて考える」 津川尚子 (大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部) (座長) 藤原葉子</p>
<p>13:00~15:30 シンポジウム③ 【ビタミンと脳神経機能】</p> <p>「ビタミンEによる神経保護作用について」 福井 浩二 (芝浦工業大学 システム理工学部 生命科学科)</p> <p>「ビタミン等の食品因子に焦点を当てた認知症予防法の開発」 山田 正仁 (国家公務員共済組合連合会 九段坂病院)</p> <p>「トリプトファン-NAD経路代謝産物キヌレン酸と脳神経機能」 福渡 努 (滋賀県立大学 人間文化学部)</p> <p>「記憶制御に対するビタミンB₁を中心とする必須栄養素群の役割 Roles of essential nutrients in memory regulation」 喜田 聡 (東京大学大学院 農学生命科学研究科)</p> <p>「ビタミンKの最近の話題、脳機能との関連」 井上 聡 (東京都健康長寿医療センター研究所 老化機構研究チーム) (座長) 竹中麻子, 福井浩二</p>	<p>13:00~15:00 シンポジウム④ 【ビタミン誘導体による人工触媒系の開発および医療応用研究の最前線】</p> <p>「ビタミンB₂を用いた有機分子触媒反応の開発と機能性材料への応用」 飯田 拓基 (島根大学大学院 自然科学研究科)</p> <p>「光や電気エネルギーで駆動するビタミンB₁₂誘導体による 人工触媒システムの開発」 嵩越 恒 (九州大学大学院 工学研究院応用化学部門)</p> <p>「アスコルビン酸誘導体を用いた医薬品開発への可能性」 田井 章博 (徳島大学大学院 社会産業理工学研究部)</p> <p>「トコトリエノールエーテル誘導体化による抗がん作用増強の可能性 —悪性中皮腫を用いた解析—」 矢野 友啓 (東洋大学ライフイノベーション研究所) (座長) 石川孝博, 矢野友啓</p>
<p>15:30~15:40 閉会式挨拶</p>	

状況により、講演順序が変更となることがございます。ご了承ください。